

1 単元名 「ことわざを調べて紹介しよう」

2 単元の目標

- ◎長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。
- 書いた紹介カードの内容を確かめたり、伝えたい事をより分かりやすく正確な言葉や表現に改めたりすることができる。
- ことわざや故事成語に興味を持ち、資料を使って調べたり、紹介する文章を書こうとしたりできる。

3 観点別評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ことわざの意味や使い方を理解している。 ○どの本で調べたかが後で分かるように、著者名・書店・出版社名・発行年を記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ことわざの意味を知り、解説を書いたり、具体的な場面を考えたショートストーリーを書いたりしている。 ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○目次や索引を活用して本を使って調べカードに記録している。 ○ことわざについて本や辞典など調べその意味を知り、語句や表現を増やしている。 |

4 単元について

本単元は、興味をもった「ことわざ」について調べ、書く内容を明確にして紹介文を書くことが中心となる。ことわざには日頃よく耳にするものから初めて接するものまで、いろいろなものがある。また、ことわざには生活経験などにおいてありがちなことを述べたり、教訓を述べたりするものが多く、児童にとって親しみやすいものだと考える。

来年度の3年生に紹介するという目的意識をもち、よりことわざを身近に感じてもらうために、解説文に加えてショートストーリーや4コマ漫画をつける等の構成を工夫させていきたい。さらに、ここで学習した技能を社会科や総合的な学習の時間で調べたことを紹介したり、朝の会で行っているスピーチ活動で活かしたりすることで技能の定着を図る。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 意欲を高める

- 「伝えたい」「調べたい」という意欲を高めるために、調べたことを冊子にして、友達や来年の3年生に読んでもらうという相手意識や目的意識をはっきりもてる活動を設定する。

(2) 思考を深める

- 「使い方」や「分類方法」を意識できるように、図書資料を活用して調べるようにする。
- ことわざが、どのような場面でどのように使われているのかを考えられるように、ショートストーリーを使って文例を示すようにする。

(3) 知識・技能の習得

- 目次索引の使い方や出典の書き方が身に付くように、ワークシートを工夫して、引用の仕方を分かりやすく示す。
- 書き方に見通しがもてるよう、モデル文や書き方のポイントを提示する。

6 指導計画

課題設定 第1～2時

- 知っていることわざについて話し合い、「ことわざストーリーブックを作ろう」という学習課題をつくる。
- ことわざの面白さや魅力を伝えるための計画を立て、学習の見通しをもつ。

取材 第3～7時

- ことわざの本や辞典を使ってことわざを調べる方法について話を聞いたり、話し合ったりする。
- 興味をもったことわざの意味を調べカードに記録する。
- 調べたことわざをグループで交流し、紹介することわざを決める。

構成・記述 第8～10時

- ショートストーリーについて理解し、自分の文章の組み立てを考える。(本時)
- モデル文を参考にし、調べたことわざを組み立てに基づいて紹介カードにまとめる。
- モデルとなる文型を見て、生活経験を生かした用例を書く。

推敲・清書 第11・12時

- 自分が書いた文を読み返し、書いたものが正しいか、分かりやすいか確かめ、清書する。

交流 第13時

- できあがったものを読み合い、感想カードを交換し、交流する。

7 本時について (8/13)

(1) 本時の目標

用例を説明するショートストーリーの内容を考え、書くことができる。

(2) 本時の展開

| ○学習活動 | ◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて |
|------------------------------------|--|
| ○前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 | |
| ことわざをどんな場面で | |
| ○ショートストーリーの良さについて考え、発表しあう。 | ◎ショートストーリーの中でことわざが使われていると、どのような場面でどのように使ったらいいのかが分かりやすくなることに気付けるよう、「ショートストーリー」のモデルとなる例を示す。 |
| ○ショートストーリーの書き方について話を聞いたり、話し合ったりする。 | ◇ショートストーリーの、基本の文型を示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 基本の文型 「～があった。 ～があった。 まさに○○だ。」 </div> ◇日常の体験と結び付けて用例を考えられるようにする。 |
| ○ショートストーリーを考えて書く。 | ◇書き終わったら、友達と互いに読み合い、良いところや、分からないところを伝え合えるようにする。 ☆基本の文型を踏まえ、ことわざをどんな場面で使うかをショートストーリーに書いている。 |
| ○子供の作品をもとに、学習の振り返り、作品の良さを発表しあう。 | ◇子供の作品を紹介し、がんばったことや工夫したことなどを実感できるようにする。 |

1 単元名 「ことわざを調べて紹介しよう」

2 単元の目標

- ◎長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。
- 書いた紹介カードの内容を確かめたり、伝えたい事をより分かりやすく正確な言葉や表現に改めたりすることができる。
- ことわざや故事成語に興味を持ち、資料を使って調べたり、紹介する文章を書こうとしたりできる。

3 観点別評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ことわざの意味や使い方を理解している。 ○どの本で調べたかが後で分かるように、著者名・書店・出版社名・発行年を記録している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ことわざの意味を知り、解説を書いたり、具体的な場面を考えたショートストーリーを書いたりしている。 ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○目次や索引を活用して本を使って調べカードに記録している。 ○ことわざについて本や辞典など調べその意味を知り、語句や表現を増やしている。 |

4 単元について

本単元は、興味をもった「ことわざ」について調べ、書く内容を明確にして紹介文を書くことが中心となる。ことわざには日頃よく耳にするものから初めて接するものまで、いろいろなものがある。また、ことわざには生活経験などにおいてありがちなことを述べたり、教訓を述べたりするものが多く、児童にとって親しみやすいものだと考える。

来年度の3年生に紹介するという目的意識をもち、よりことわざを身近に感じてもらうために、解説文に加えてショートストーリーや4コマ漫画をつける等の構成を工夫させていきたい。さらに、ここで学習した技能を社会科や総合的な学習の時間で調べたことを紹介したり、朝の会で行っているスピーチ活動で活かしたりすることで技能の定着を図る。

5 研究主題に迫るための手だて

(1) 意欲を高める

- 「伝えたい」「調べたい」という意欲を高めるために、調べたことを冊子にして、友達や来年の3年生に読んでもらうという相手意識や目的意識をはっきりもてる活動を設定する。

(2) 思考を深める

- 「使い方」や「分類方法」を意識できるように、図書資料を活用して調べるようにする。
- ことわざが、どのような場面でどのように使われているのかを考えられるように、ショートストーリーを使って文例を示すようにする。

(3) 知識・技能の習得

- 目次索引の使い方や出典の書き方が身に付くように、ワークシートを工夫して、引用の仕方を分かりやすく示す。
- 書き方に見通しがもてるよう、モデル文や書き方のポイントを提示する。

6 指導計画

課題設定 第1～2時

- 知っていることわざについて話し合い、「ことわざストーリーブックを作ろう」という学習課題をつくる。(本時)
- ことわざの面白さや魅力を伝えるための計画を立て、学習の見通しをもつ。

取材 第3～7時

- ことわざの本や辞典を使ってことわざを調べる方法について話を聞いたり、話し合ったりする。
- 興味をもったことわざの意味を調べカードに記録する。
- 調べたことわざをグループで交流し、紹介することわざを決める。

構成・記述 第8～10時

- ショートストーリーについて理解し、自分の文章の組み立てを考える。
- モデル文を参考にし、調べたことわざを組み立てに基づいて紹介カードにまとめる。
- モデルとなる文型を見て、生活経験を生かした用例を書く。

推敲・清書 第11・12時

- 自分が書いた文を読み返し、書いたものが正しいか、分かりやすいか確かめ、清書する。

交流 第13時

- できあがったものを読み合い、感想カードを交換し、交流する。

7 本時について (1/13)

(1) 本時の目標

ことわざを調べることに興味をもち、学習課題や学習計画を立てることができる。

(2) 本時の展開

| ○学習活動 | ◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて |
|---|--|
| ○示された1枚の絵からどのような場面なのか説明を考え、発表しあう。 | ◇掲示された場面の説明を考えた後、ことわざの3択クイズにすることによって、考えをもつことが難しい児童も自分の考えがもてるようにする。 |
| ○何枚かの絵から、その絵に当てはまることわざを予想する。 | |
| ○モデル文のショートストーリーを読み、そのよさについて考え、学習課題をつくる。 | ◇①本 ②調べる意味 ③ことわざ ④モデル文を示すことで、ことわざストーリーブックを作るための意欲付けをする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <学習課題> ことわざを調べて「ことわざストーリーブック」を作ろう。 </div> | |
| ○読み手を意識して、ことわざストーリーブックをつくる計画を話し合う。 | ☆ことわざストーリーブックのイメージをもち、作ろうとする意欲が高まっている。 ◎調べたことを冊子にしてまとめ、友達や次年度の3年生に読んでもらうという相手意識・目的意識がもてるようにする。 ◎モデル文を提示し、書く内容の見通しをもてるようにする。 ☆ショートストーリーのよさに気付き、学習の見通しをもっている。 |
| ○板書をもとに、学習の振り返りをする。 | ◇板書をもとに学習を振り返り、次の時間には自分も書きたいという意欲を高める。 |

